第 24 回 (2021 年) まちづくり・都市デザイン競技

1. 趣 旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要になっています。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、その魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されます。こうしたまちづくりの課題を踏まえ、本「まちづくり・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的として、平成10年度より毎年実施しているものです。

2. 競技対象地区

競技の対象地区は、全国公募に応募された候補地の中から、埼玉県の行政、商業・サービス業の中心 地である「浦和駅周辺地区」(約94ha)を選定しました。

3. 競技課題

都心のまちとしての標準装備の視点と、浦和駅周辺地区のまちの魅力をさらに磨く個性特出の視点から、実装すべき都市性能について約 30 年後の 2050 年を見据えた将来像や都市デザインのコンセプトの提案を求めました。加えて、JR 浦和駅の周辺エリアにおける、 $10\sim20$ 年後の中間目標時点での、市のシンボルとなるようなエリアのデザインと実現手法のアイデアについて、マネジメントの観点も考慮した提案を求めました。

4. 応募作品数

競技へのエントリーが 74 グループあり、最終的に提出された応募作品数は 55 作品でした。

5. 主催・後援

(1) 主 催 : まちづくり月間全国的行事実行委員会

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

(2)後 援: 国土交通省、さいたま市

6. 競技実施経緯

(1) 応募登録期間 : 令和3年10月1日(金)~令和4年3月1日(火)

(2) 作品提出締切 : 令和4年3月15日(火)

(3) 審 查 : 令和4年3月29日(火)

(4) 表 彰 : 令和4年6月

7. 審査委員

委員長 西村 幸夫 (國學院大學新学部設置準備室長・教授、東京大学名誉教授)

委 員 石川 幹子(中央大学研究開発機構 機構教授、東京大学名誉教授)

岸井 隆幸 ((公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、日本大学特任教授)

高見 公雄(法政大学教授)

藤本 昌也 (建築家、日本建築士会連合会名誉会長)

菊池 雅彦(国土交通省都市局市街地整備課課長)

清水 勇人(さいたま市長)

(順不同)

8. 審査結果

審査の結果、次の通り各賞が選定されました。

○国土交通大臣賞(1点)

砂川 良太 [株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル]

○まちづくり月間全国的行事実行委員会会長賞(1点)

石田 武/ 半澤 武夫/ 野島 僚子/ 山崎 ひかり/ 前山 倫子/ 杏村 潤貴/ 矢口 伊万里/ 長坂 康汰/ 木野 朋彦/ 佐久間 萌美/ 西川 陽温

[大成建設 株式会社]

〇 (公財) 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞 (1点)

栗山 康輔/ 土居 正裕/ 南 明日香/ 川江 祐司朗

[株式会社 竹中工務店 開発計画本部]

○奨励賞(2点)

志波 湧志/ 川島 快

[清水建設 株式会社]

大田 詩織/ 金川 大倫

[滋賀県立大学大学院 環境科学研究科 環境計画学専攻]

大家 成葉/ 権藤 友菜/ 松田 杏奈/ 山内 祥平

[滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科]

○さいたま市長特別賞(1点)

田中 勇気/ レタンロン/ 櫻本 敦士/ 渡邉 祐大/ 大井 彩有里/ 小谷 春花/ 山本 雄一/ 橋元 一成 [戸田建設 株式会社]

国土交通大臣賞 受賞作品

URAWA Urban Museum 「都市の記憶」を発見・共有・発信するまち

砂川 良太 [株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル]

